

令和4年度

秋田県学習状況調査

能代市分析結果

I 実施の状況

II 教科に関する調査結果

1 概要について

2 各学年の結果について

(1) 小学校4年生平均通過率

(2) 小学校5年生平均通過率

(3) 小学校6年生平均通過率

(4) 中学校1年生平均通過率

(5) 中学校2年生平均通過率

(6) まとめ

III 質問紙調査結果



能代市教育委員会

I 実施の状況

1 実施趣旨

○学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

2 実施学年

小学校4年生～中学校2年生

3 調査内容

- ①教科に関する調査
- ②質問紙調査



4 実施教科

小学校4年生 : 国語、算数、理科
小学校5、6年生 : 国語、社会、算数、理科
中学校1、2年生 : 国語、社会、数学、理科、英語

5 実施期日

小学校 : 令和4年12月 1日(木)
中学校 : 令和4年11月30日(水)

6 調査を実施した学校・児童生徒数

対象学年	学校数(実施率)	実施児童生徒数
小学校4年生	7校(100%)	283人
小学校5年生	7校(100%)	274人
小学校6年生	7校(100%)	317人
中学校1年生	6校(100%)	296人
中学校2年生	6校(100%)	317人

Ⅱ 教科に関する調査結果

1 概要について

＜小学校＞ おおむね良好な状況です

(1) 県平均を上回った教科

- 4年生 国語、算数、理科
- 5年生 国語、社会、算数
- 6年生 国語、社会、算数、理科

※各学年で実施したほとんどの教科において、県平均を上回っています。

☆県平均を5ポイント以上、上回った教科

- 4年生 算数
- 5年生 算数

(2) 昨年度との比較から

5年生で県平均をわずかに下回る教科はあったものの、おおむね昨年度と同等の結果で、県平均を上回っています。

＜中学校＞ おおむね良好な状況です

(1) 県平均を上回った教科

- 1年生 国語、社会、数学、理科、英語
- 2年生 国語、社会、数学、英語

※1年生は実施した全ての教科において、県平均を上回っています。

☆県平均を5ポイント以上、上回った教科

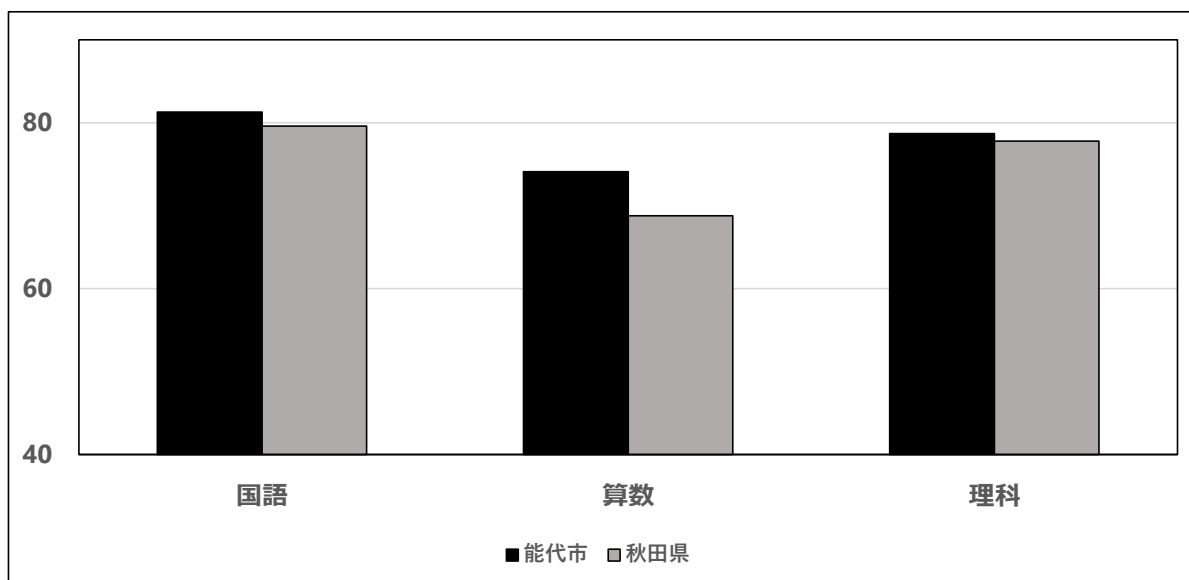
- 1年生 社会、理科
- 2年生 社会

(2) 昨年度との比較から

2年生で県平均を下回る教科はありましたが、5ポイント以上県平均を上回る教科が昨年度より増え、おおむね良好な状況と言えます。

2 各学年の結果について

(1) 小学校4年生平均通過率



各教科とも大変良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。算数は5ポイント以上、上回っています。

<国語> 12問中、8問で上回っています。

<算数> 18問中、16問で上回っています。

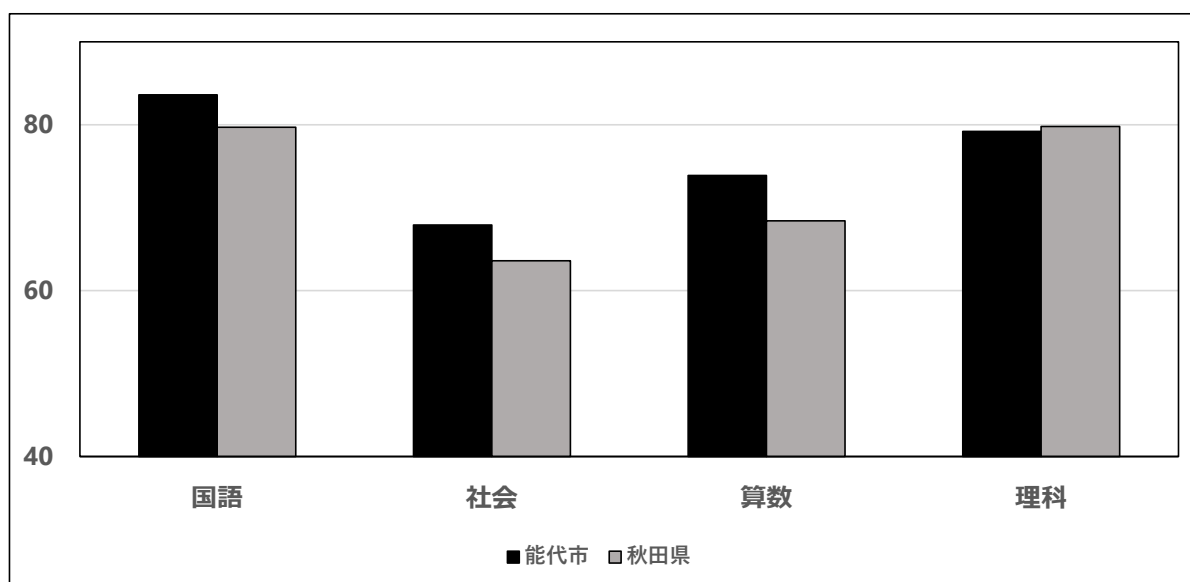
☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(2) 少数の加法

(15) 十進位取り記数法の意味理解

<理科> 12問中、7問で上回っています。

(2) 小学校5年生平均通過率



各教科ともおおむね良好な状況です

○3教科が県平均を上回っています。算数は5ポイント以上、上回っています。
理科は県平均を下回りました。

<国語> 16問全ての問題で上回っています。

<社会> 18問中、16問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(10) 関係機関の協力体制

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(4) 場所による違い

<算数> 18問中、17問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

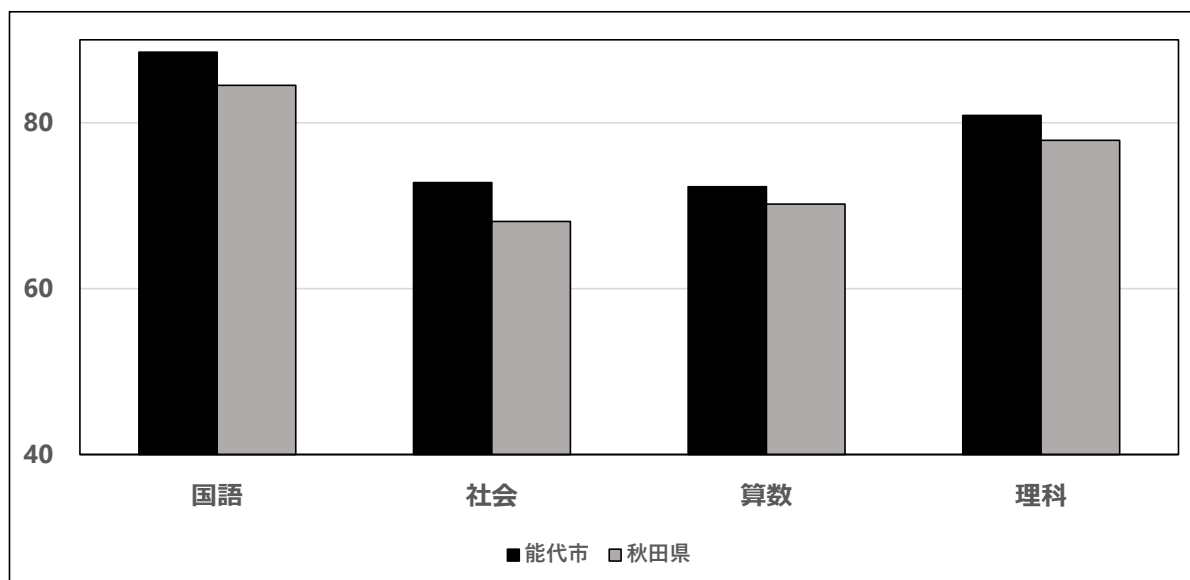
(12) 三角形の三つの角の和の利用

<理科> 18問中、9問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(11) 受粉の仕組みについて調べる実験の条件

(3) 小学校6年生平均通過率



各教科とも大変良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。

<国語> 18問中、17問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(9) 敬語

<社会> 18問中、17問で上回っています。

<算数> 18問中、14問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

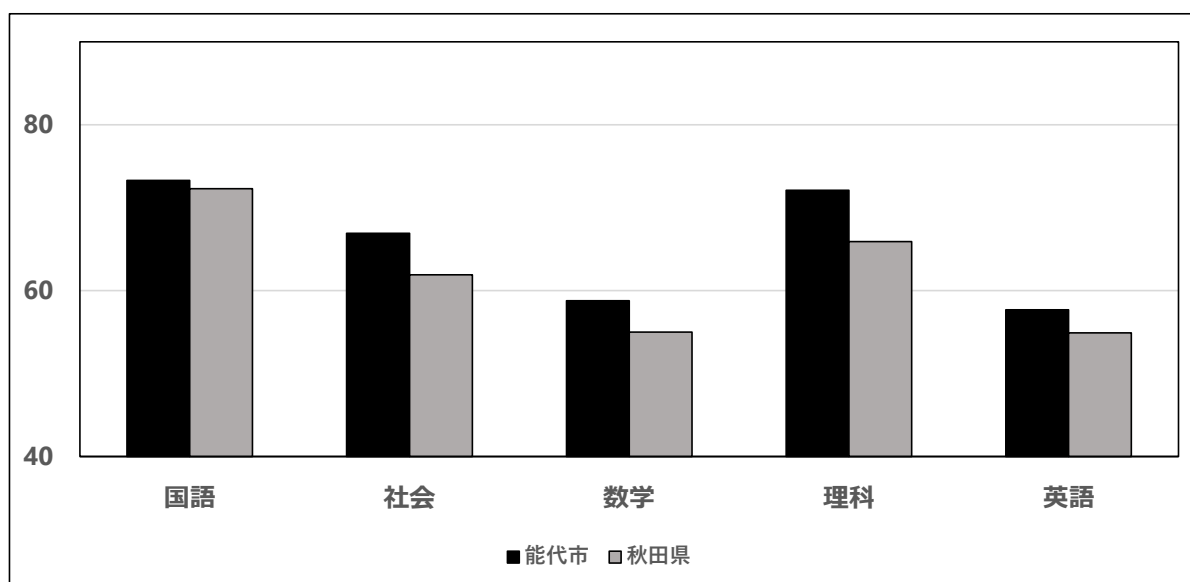
(18) 必要な情報の読み取りと数学的な説明

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(4) 速さ、時間、道のりの関係

<理科> 18問全ての問題で上回っています。

(4) 中学校1年生平均通過率



各教科とも大変良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。社会、理科は5ポイント以上、上回っています。

<国語> 17問中、12問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(2) 漢字を読む (7) 漢字の部首

<社会> 18問中、16問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(12) 乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫 (16) 大和朝廷による統一

<数学> 18問中、12問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(3) 素数 (10) 比
(11) 比例の利用 (12) 代表値(中央値)

<理科> 18問中、17問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

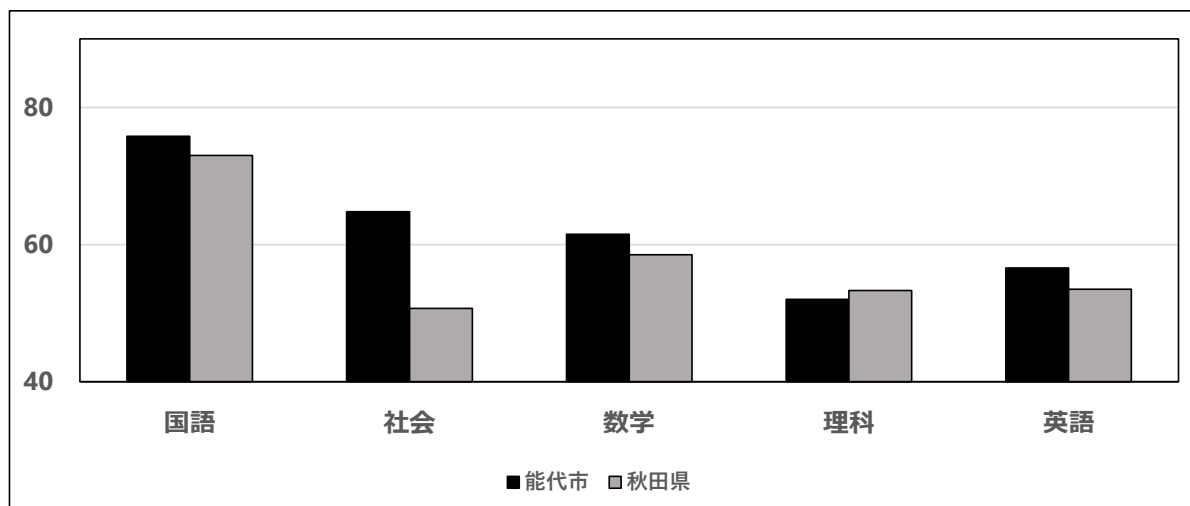
(9) 密度の求め方 (10) 気体の捕集方法
(12) 水の温度と物質のとけ方、再結晶
(15) 生物を分類するための観点や基準 (16) 両生類の成長と生活場所

<英語> 18問中、13問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(5) 質問の内容に対する適切な応答
(14) 得意なこと、またはできることについての英文の作成

(5) 中学校2年生平均通過率



各教科ともおおむね良好な状況です

○4教科が県平均を上回っています。社会は県平均を5ポイント以上、上回っています。理科は県平均を下回りました。

<国語> 18問中、12問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

- (17) 登場人物の心情を捉える
- (18) 自分が気に入った季語を選んだ理由について体験と関連付けて書く

<社会> 18問中、16問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (2) 地球上の本初子午線の位置 | (3) 地球上の正反対の位置 |
| (5) ヨーロッパの歴史と地域的特色 | (6) EU統合がもたらす成果と課題 |
| (7) 各州の出生率と森林面積の増減 | (9) 我が国の工業の特色 |
| (10) 我が国の交通の特色 | (12) 天平文化の特色や背景 |
| (14) 中世の商業の発達 | (15) 分国法の制定 |
| (17) 百姓一揆や打ちこわしの発生 | (18) 貨幣経済の広がりや農村の変化 |

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

- (16) 江戸幕府の政治改革

<数学> 17問中、13問で上回っています。

<理科> 18問中、8問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (5) 火成岩のでき方のちがい | (6) 火山の形とマグマの性質 |
| (11) 酸化と還元 | (13) 光合成に関する実験方法 |
| (14) 光合成と二酸化炭素の関係 | (17) 糖の有無を調べる実験の方法 |
| (18) 唾液の働き | |

<英語> 18問中、14問で上回っています。

(6) まとめ

★県平均を5ポイント以上下回った問題

国語

- 中1年 (2) 漢字を読む
- (7) 漢字の部首

社会

- 小5年 (4) 場所による違い
- 中2年 (16) 江戸幕府の政治改革

算数

- 小6年 (4) 速さ、時間、道のりの関係

理科

- 小5年 (11) 受粉の仕組みについて調べる実験の条件
- 中2年 (5) 火成岩のでき方のちがい
- (6) 火山の形とマグマの性質
- (11) 酸化と還元
- (13) 光合成に関する実験方法
- (14) 光合成と二酸化炭素の関係
- (17) 糖の有無を調べる実験の方法
- (18) 唾液の働き

対策

令和4年度の問題で、県平均を5ポイント以上下回った問題は、13問で、昨年度より5問増加しました。特に中学校2年生の理科(13)(18)は10ポイント以上下回っています。「光合成」に関する問題については昨年度の調査でも同様の課題が見られました。

小学校5年生の理科(11)の問題は、県教委の示す「学習状況における課題等の改善に資する問題」、小学校5年生の社会(4)、中学校2年の理科(6)(13)(14)の問題は、「問いを発する子どもの基盤づくりに資する問題」に分類されています。

課題となっている問題については授業改善へのメッセージと捉え、今年度のうちに回復を行いながら、よりよい授業づくりに努めます。

